

省 交 国 CM方式でモデルプロ 自治体の入札改革を支援

国土交通省は地方自治体の入札・契約制度改革を促すため、地方自治体発注工事でのコンストラクション・マネジメント（CM）方式導入のモデルプロジェクトを実施する。

CM方式は契約したコンストラクション・マネジャー（CMR）が発注者に代わって設計・発注・施工関連のマネジメント業務を行うもの。国交省では00年から試行している。07年度は地方自治体発注工事の中から3～5件を選定する。

従来の公共工事発注は主に元請けの総合工事業者が施工に関するマネジメント業務を担う一括発注方式（一式請負方式）が中心。発注者にとって監督業務負担が少なく済むものの、コストが不透明で財政支出削減の障害となり、いわゆる丸投げ工事や談合の温床にもなっていた。

そうした中、下請け専門工事業者の技術レベルが向上してきたこともあり、国交省では00年にCM方式研究会を設置し、02年には基本指針「CM方式活用ガイドライン」を策定。入札・契約制度改革の一環として試行に取り組んでいる。

CM方式では元請け業者に代わり、CMRが各種専門工事業者に個別発注する形式になる。CMRは発注者にとって技術アドバイザー的存在。CM方式は、人材に限られる地方自治体の技術的な知見不足を補完する民間ノウハウ活用策といえるが、ほとんど浸透していないのが実情だ。